

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	道路新設改良等事業				事業通番	4568		
					開始年度	令和3年度		
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--		
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課		
予算科目	会計	一般会計		款	土木費		担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路新設改良費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法・会津美里町町道管理基準要綱						
事務事業の概要	狭い町道の改良や歩道の整備、水路整備を行い、良好な道路交通環境を確保し、町民の利便性・安全性を図る。						
対象（誰、何を）	町道の狭い区間						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	安全な道路の通行が確保される						
成果の考え方	町民の利便性、安全性を図る						
【成果指標】							単位
A	測量設計延長						m
B	改良延長						m

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	148,368	135,014			
国庫支出金	35,170	35,116			
県支出金					
地方債	76,400	61,000			
その他					
一般財源	36,798	38,898			

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	510	200			
B	740	300			
	685	282			

(3) 活動実績及び成果

活動実績	町道13094号線整備事業及び町道12009号線歩道整備に伴う物件調査、用地物件移転補償契約を行った。また、町内の水路等の整備を行い、利便性・安全性を確保した。
成果	町道13094号線整備事業及び町道12009号線歩道整備事業に向けての進捗が図られた。良好な道路交通環境の確保が図られた。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 緊急度合による優先順位を設定し、年次計画で整備することにより利便性、安全性を図る。
コストの方向性	現状維持	(理由) 再生材を利用しコスト削減に努めており、削減の余地はない状況である。
今後の方向性	現状維持	(理由) 優先順位、年次計画により道路交通環境整備を行い、利便性、安全性の向上を図る。

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	公共交通利用促進事業				事業通番	4712	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	政策企画係
	項	総務管理費		目	企画費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法、会津美里町地域公共交通会議設置要綱					
事務事業の概要	地域公共交通網形成計画に掲げる基本理念「安心して住み続けられる便利で持続可能な公共交通網の形成を目指す」に基づき、利用者ニーズを踏まえ地域内交通及び地域間交通の維持・充実に努めるとともに、広域交通を担う路線バスにおいては、新たな交通拠点や目的施設を経由するなど、便利で持続可能な公共交通網を形成する。					
対象（誰、何を）	町民					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	公共交通を利用する					
成果の考え方	町民の日常生活に必要な移動手段が維持・確保され、通院や買い物、趣味活動等において外出利用が増えているかを評価するため、以下の指標を設定する。 A：美里あいあいタクシー利用者 B：路線バス利用者 なお令和3年度より、6事業を「公共交通利用促進事業」に統合。 【B指標】は路線バス年間利用者として輸送人員実績を設定していたが、実人数ではなく数式で算出される安定的でない指標					
【成果指標】						単位
A 美里あいあいタクシー利用者						人
B 路線バス利用者						人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	53,168	74,151			
国庫支出金					
県支出金	5,803	6,600			
地方債					
その他	7,695	8			
一般財源	39,670	67,543			

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	27,450	27,450			
	22,235	23,411			
B	844	844			
	596	547			

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスの利用促進として、未就学児（年長児）を対象としたギャラリーバスを実施し、51名の未就学児が乗車した。</li> <li>ギャラリーバスの実施にあわせて、未就学児（年長児）を対象とした路線バス試乗会を町内の4つのこども園すべてで実施した。</li> <li>11月1日よりAIを利用したデマンド交通配車システムを導入した。</li> <li>町民・地元高校生・事業者等に呼びかけ、10月1日只見線全線再開記念列車のお見送りを行った。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族で公共交通を利用する機会や公共交通について考える機会となり、路線バスの利用促進へとつながった。</li> <li>新システム導入によるアプリ利用実績は全体の2%程度にとどまるが、AIの導入により時刻表に限らず即時配車が可能となり、利用者からは便利になったという声が聞かれた。</li> <li>町民・地元高校生・町内事業者と町が一体となってお見送りをすることにより、只見線が地域の自分達の路線であるという意識が醸成され、鉄道の利用促進に繋がった。</li> </ul>

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) デマンド交通において、新たに導入したAIシステムを活用し、利便性の向上を図り、利用者の増加を目指す。
コストの方向性	縮小	(理由) 令和4年度においては、AIを活用した新たなデマンド交通システムを導入したが、今後は運用費のみとなるため減額となる。
今後の方向性	協働化改善	(理由) 鉄道、路線バス及びデマンド交通を一体的に捉え、町民が利用しやすく、将来にわたり持続可能な公共交通体系を維持する。

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	除雪対策事業				事業通番	16755		
					開始年度	令和3年度		
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--		
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課		
予算科目	会計	一般会計		款	土木費		担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法（昭和二十七年六月十日法律第八十号）、道路法施行令（昭和二十七年十二月四日政令第四百七十九号）、会津美里町道路管理基準要綱（平成17年10月1日告示第						
事務事業の概要	除雪を実施することで、降雪時の交通障害を解消し、冬期間の交通の安全を確保する。						
対象（誰、何を）	除雪路線（歩道を含む）						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	除雪（排雪を含む）を行い、住民の安全な通行を確保する。						
成果の考え方	除雪に対する住民の満足度 直接の数値を捉えることは困難なので、間接指標とする。除雪のクレームや要望が少なければ少ないほど満足度は高いといえる。						
【成果指標】							単位
A	降雪により通行不能となった日数						日
B	-						-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	225,502	133,739			
国庫支出金	38,455	4,982			
県支出金					
地方債	8,300				
その他	916	198			
一般財源	177,831	128,559			

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	0	0			
B	0	0			
	-	-			
	-	-			

(3) 活動実績及び成果

活動実績	地域住民の生活、経済活動を維持するために除雪、排雪を実施した。
成果	大雪や除雪車の故障等で除雪が遅れた場合があったが、除雪ができずに通行ができなかった箇所はない。住民要望によるザケ対応、拡幅作業、排雪作業も集中的に実施し、おおむね住民生活、経済活動は確保されたと判断する。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 除雪を実施することで、降雪時の交通障害を解消し、冬季間の交通の安全を維持するために必要不可欠である。
コストの方向性	現状維持	(理由) 現在直営（町で会計年度任用職員として採用）と、業者委託により除雪を実施しているが、今後コストも含め検討が必要である。
今後の方向性	現状維持	(理由) 路線の効率化を促進し、コスト縮減に努める。

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	道路維持管理事業				事業通番	16756	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課	
予算科目	会計	一般会計		款	土木費	担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法（昭和二十七年六月十日法律第八十号）、道路法施行令（昭和二十七年十二月四日政令第四百七十九号）、会津美里町道路管理基準要綱（平成17年10月1日告示第					
事務事業の概要	町が管理する施設全般の安全確保を図るため維持管理を行う。					
対象（誰、何を）	町が管理する町道、法定外道路、付随の歩道、水路、道路照明・街路灯					
意図（対象がどのような状態になることを目指すか）	町道、法定外道路、付随の歩道、水路、道路照明・街路灯が安全に機能することを維持する。 具体的には、繁茂して邪魔な草木の除去、陥没等があれば修繕し、危険が予測される状況であればその危険を取り除く。 必要であれば、構造を変える修繕を実施し、住民の利便性の向上に寄与する					
成果の考え方	A：住民や区長から寄せられた要望に加え、パトロールで発見した修繕が必要な箇所について、現場を確認し修繕対応した箇所 B：道路除草が必要な箇所について業務委託契約により実施した面積					
【成果指標】						単位
A 修繕実施箇所（道路・歩道・水路・街路灯）						件
B 道路除草実施面積						m <sup>2</sup>

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	143,419	173,655			
国庫支出金	728	14,246			
県支出金	12,469	13,131			
地方債	59,100	48,700			
その他	2,976	2,926			
一般財源	68,146	94,652			

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	100	100			
	104	134			
B	100	99,550			
	241,927	235,137			

(3) 活動実績及び成果

活動実績	職員、公社委託によるパトロール及び各自治区長報告により、危険箇所・破損箇所の修繕を実施した。
成果	危険箇所・要望箇所を修繕することで住民生活、経済活動の維持向上が図れた。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 道路等の維持管理を適切に行うことで、住民の安全確保を図る。
コストの方向性	現状維持	(理由) 施設の経年劣化が進み、事業費が増大傾向にある。
今後の方向性	現状維持	(理由) 舗装等の修繕費用が増大していることから、路線全体の舗装の打替えの促進が必要となる。

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	橋梁長寿命化補修事業				事業通番	16757		
					開始年度	令和3年度		
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--		
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課		
予算科目	会計	一般会計		款	土木費		担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法・会津美里町道路管理基準要綱						
事務事業の概要	本町が管理する道路橋は現在156橋あり、急速に老朽化が進行している状況にある。このような背景から、今後、増大が見込まれる橋梁の修繕及び架け替えに要する経費を、予防的な対応に転換し、コスト縮減を図りながら橋梁の補修を行う。						
対象（誰、何を）	町の管理する橋梁						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	橋梁の安全が確保される						
成果の考え方	老朽化が進行する橋梁を補修することで、橋梁の安全性が確保され、長寿命化が図れる。						
【成果指標】							単位
A	定期点検を行った橋梁数						橋
B	点検結果に基づき補修を行った橋梁数(補修設計含)						橋

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	36,005	44,314			
国庫支出金	22,113	25,434			
県支出金					
地方債	3,700	10,200			
その他					
一般財源	10,192	8,680			

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	34	65			
	54	65			
B	1	1			
	1	1			

(3) 活動実績及び成果

活動実績	橋梁長寿命化を図るため、141号橋（宮橋）の下部工事を行った。 橋梁定期点検では、令和3年度から2巡目に入り令和4年度は65橋の点検が完了した。
成果	橋梁の長寿命化修繕計画に基づき必要な補修を行うことができた。 橋梁定期点検では、令和3年度に50橋、令和4年度に65橋の計109橋の2巡目の点検を行い、補修が必要な箇所を把握できた。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 予防保全に努めることにより、効果的な維持管理を図る。
コストの方向性	現状維持	(理由) 工法、材料についてコスト削減に努めており、削減の余地はない。
今後の方向性	現状維持	(理由) 予防保全に努め、今後も橋梁の長寿命化を図る。